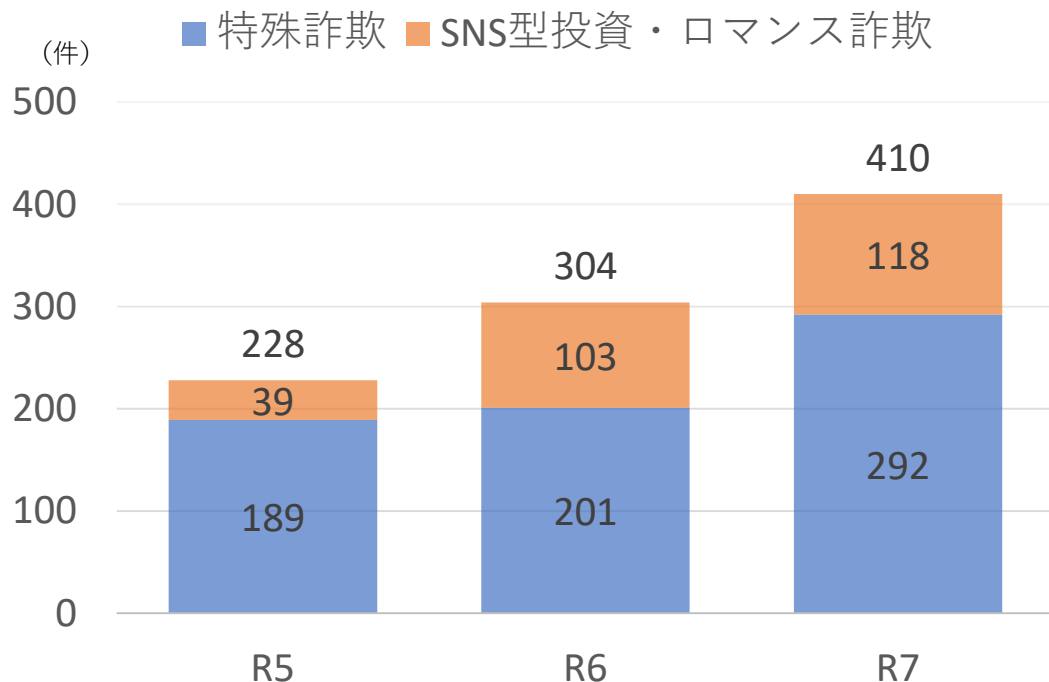

令和7年における 特殊詐欺及びSNS型投資・ロマンス詐欺 の認知状況について (京都府版・確定値)

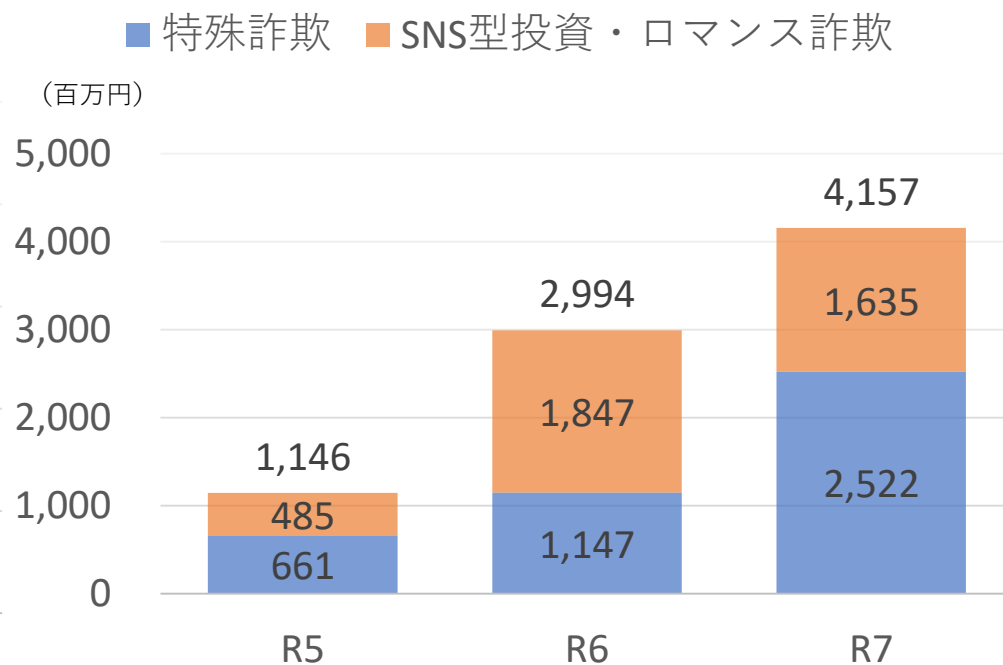
※ 各値の増減(±)は前年比

特殊詐欺及びSNS型投資・ロマンス詐欺の全体概況

【認知件数】



【被害額】



◆認知件数(総数)

410件 (+106件、+34.9%)

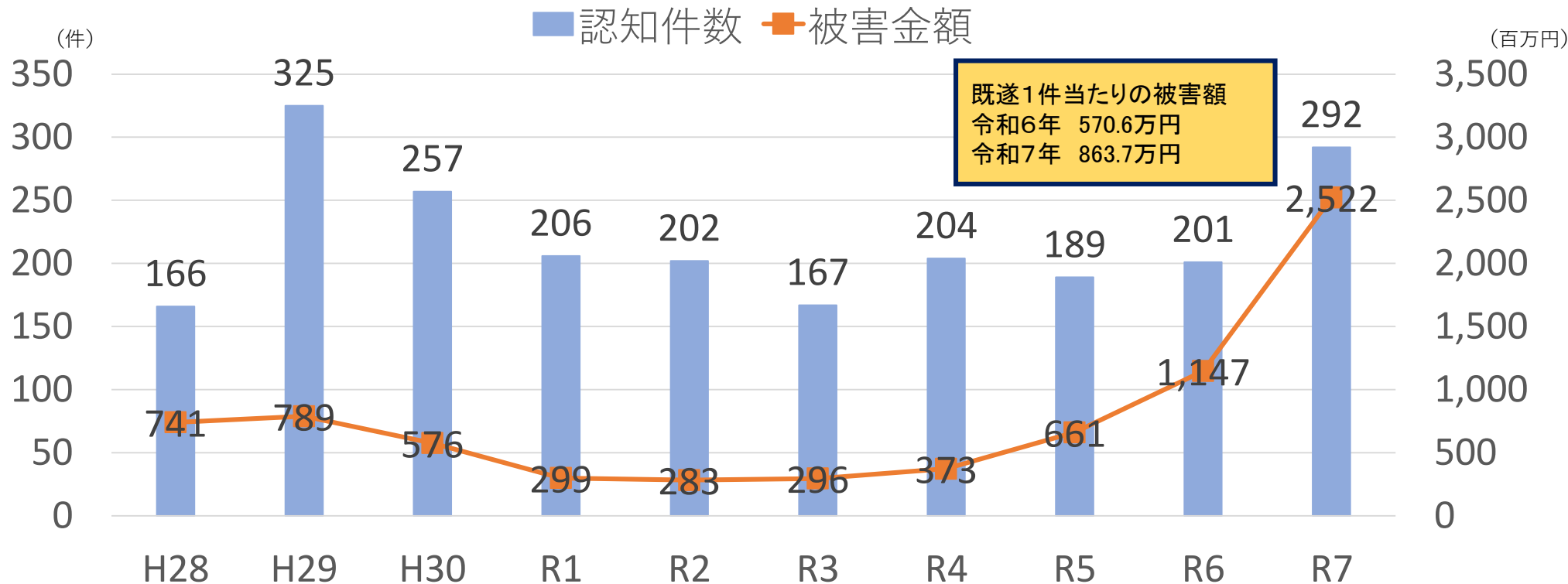
(うち 特殊詐欺 292件、SNS型投資・ロマンス詐欺 118件)

◆被害額(総額)

41億5,700万円 (+11億6,300万円、+38.9%)

(うち 特殊詐欺 25億2,200万円、SNS型投資・ロマンス詐欺 16億3,500万円)

特殊詐欺の被害状況



◆認知件数

292件 (+91件、+45.3%)

※平成29年の325件が過去最多

◆被害額

25億2,200円 (+13億7,500万円、+119.8%)であり過去最悪

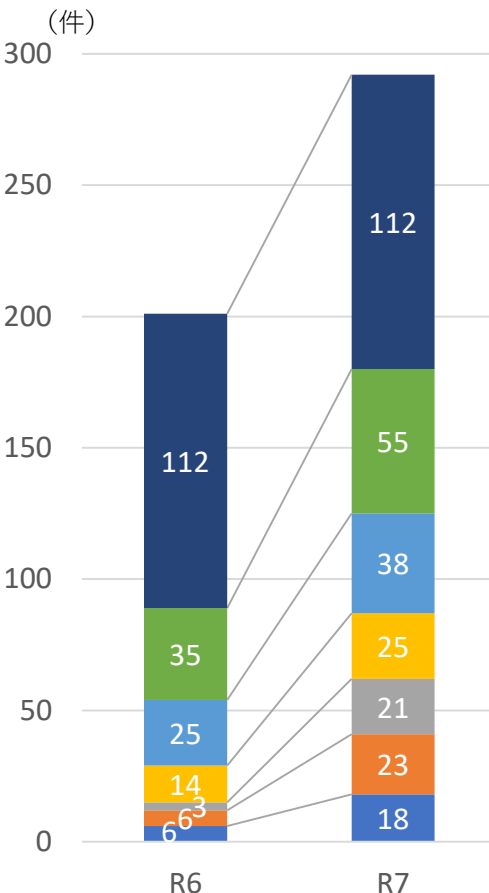
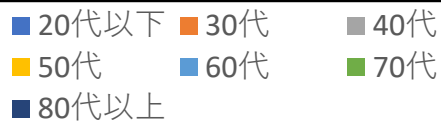
※これまでは11億4,900万円(平成26年)が過去最悪

◆増加の主な要因

警察官等を騙るオレオレ詐欺による被害の増加が顕著

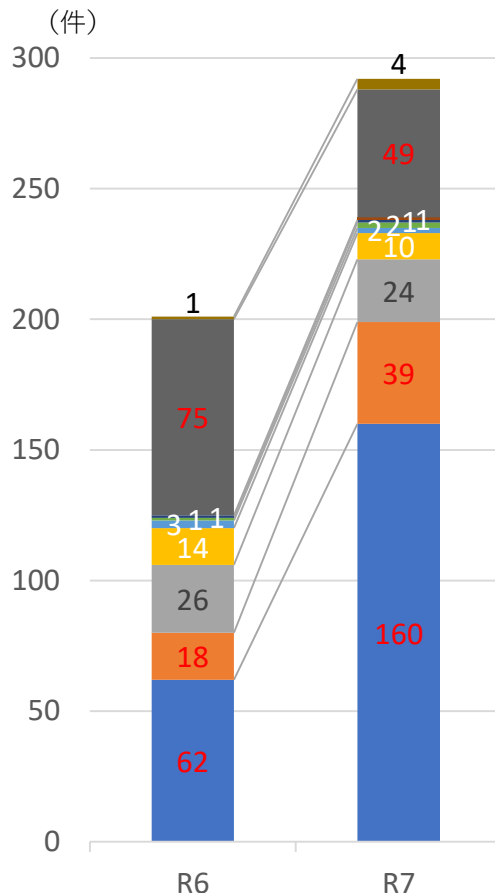
特殊詐欺被害について

年代別



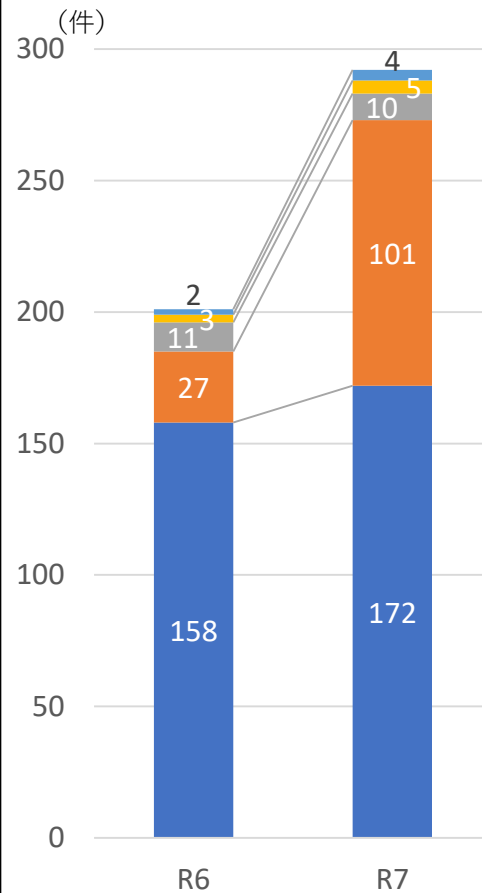
○ 警察官等を騙るオレオレ詐欺において、幅広い世代に被害が拡大

主な手口別



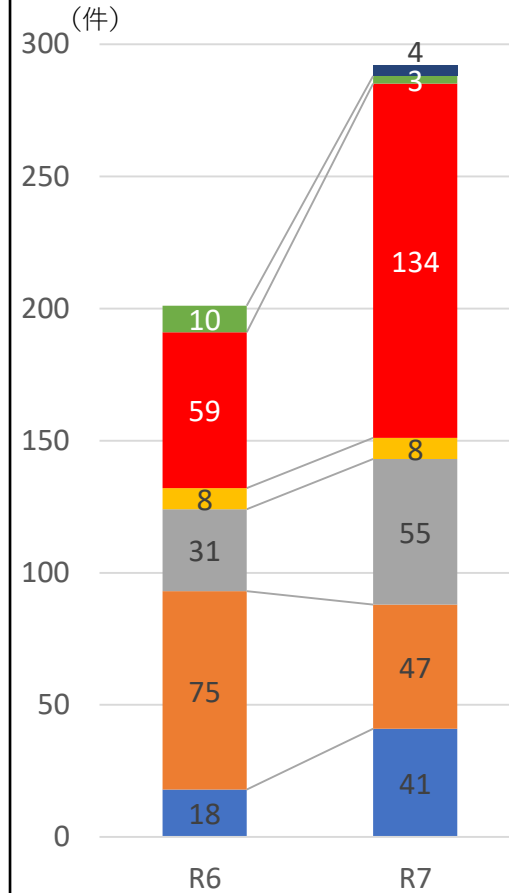
○ 警察官を騙る手口(オレオレ詐欺、預貯金詐欺等)の被害が急増

当初接触ツール



○ 電話が約9割と大半
○ 携帯電話が大幅に増加

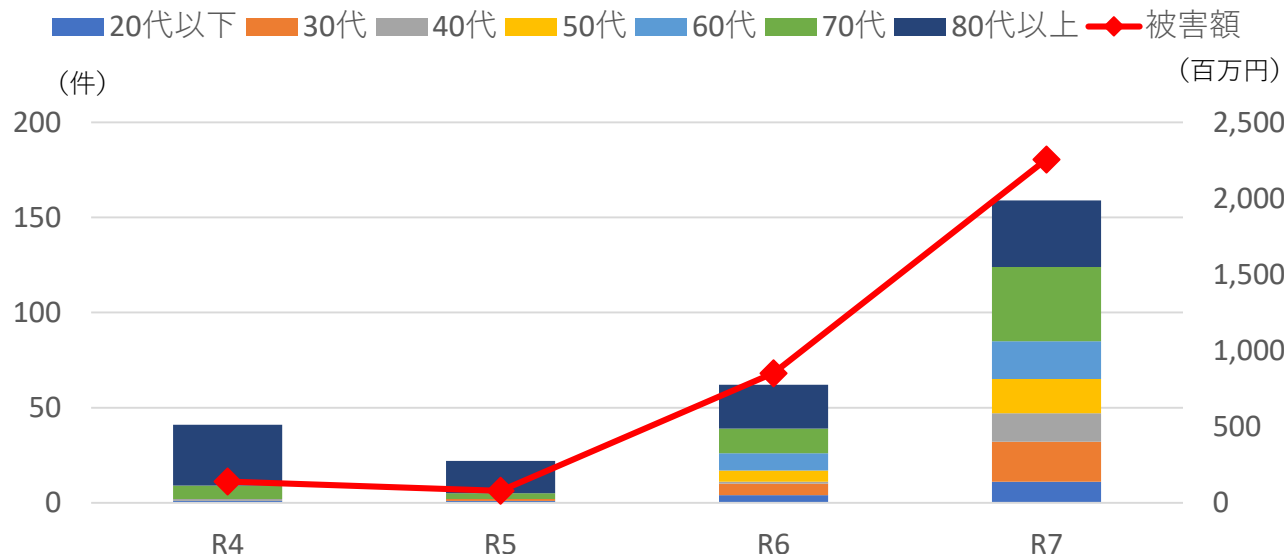
主な被害金等 交付形態別



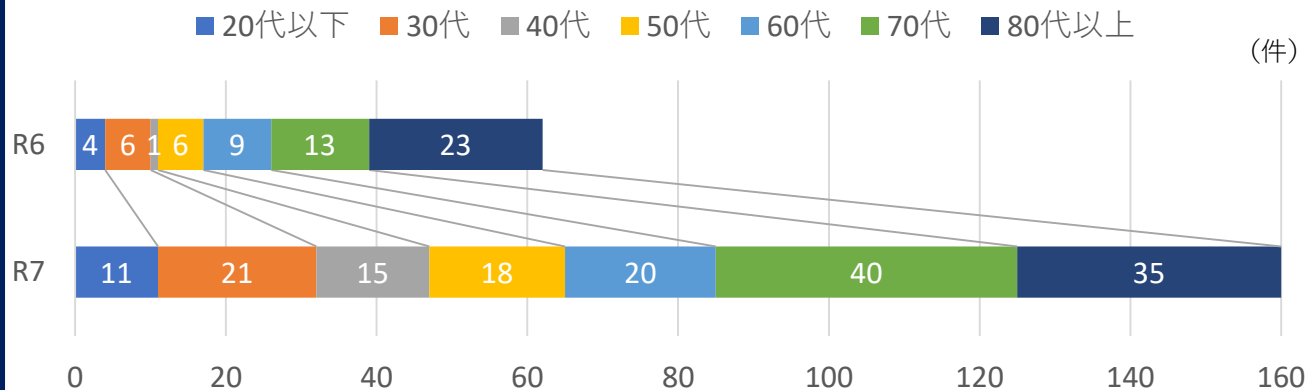
○ キャッシュカード・現金手交型、振込型が増加

特殊詐欺の主な手口であるオレオレ詐欺の被害状況について

【オレオレ詐欺の被害状況の推移】



【オレオレ詐欺の年代別認知件数の推移】



- 警察官等を騙るオレオレ詐欺において、幅広い世代に被害が拡大
10代～50代の被害者数(令和7年中): 65人(全世代の被害者の約52.4%)
- 令和7年11月頃から、親族を騙るオレオレ詐欺も多数発生

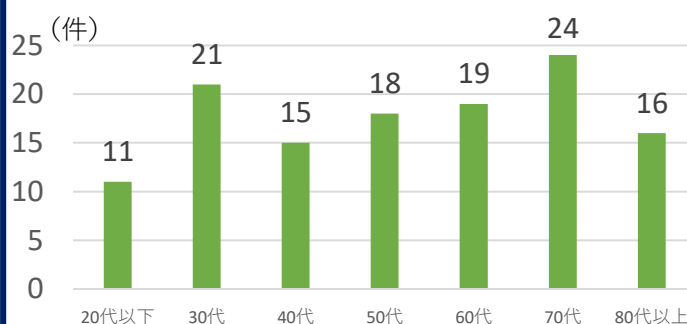
増加の主な要因

警察官を騙るオレオレ詐欺が急増

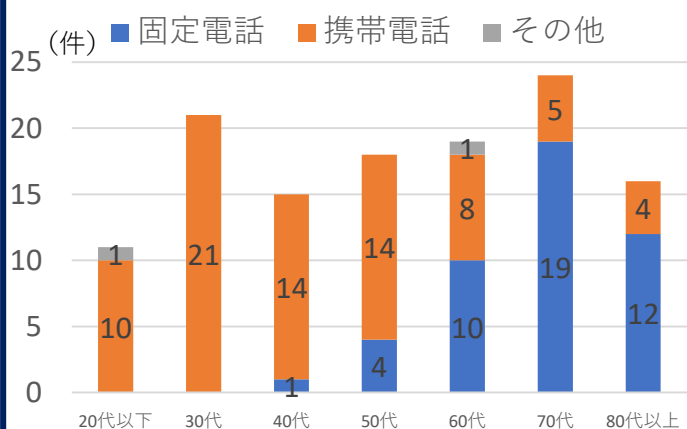
令和7年	認知件数	被害額
オレオレ詐欺	160件	22億5,700万円
うち)警察官騙り	124件	19億8,700万円

※ 捜査名目は118件、被害額は18億7,800万円
 ※ 令和6年中認知した警察官を騙るオレオレ詐欺は39件、被害額は7億4,500万円

【警察官を騙るオレオレ詐欺の被害年代】



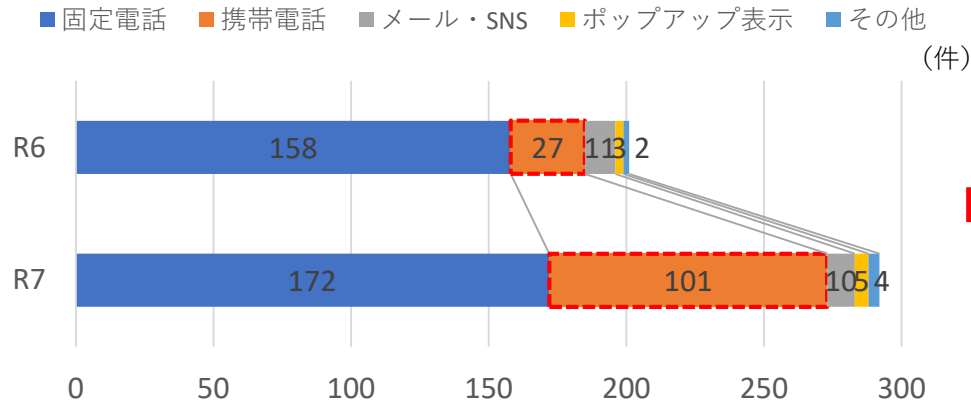
【警察官を騙るオレオレ詐欺の接触ツール】



特殊詐欺の当初接触ツールについて①

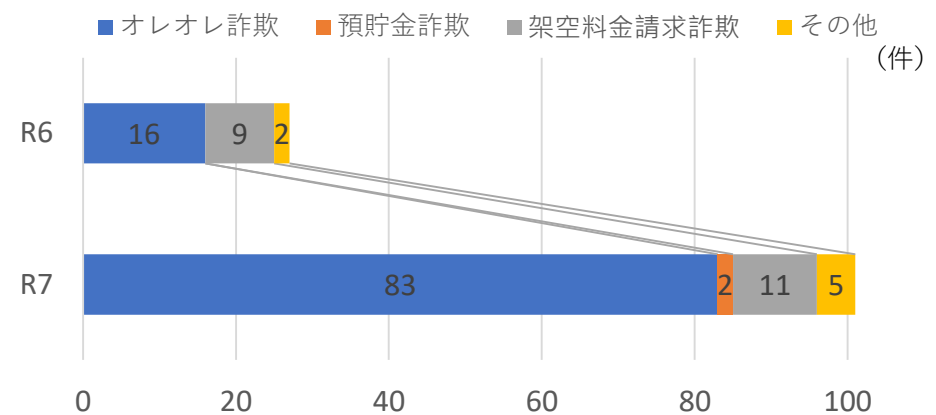
電話

【特殊詐欺の当初接触ツールの推移】



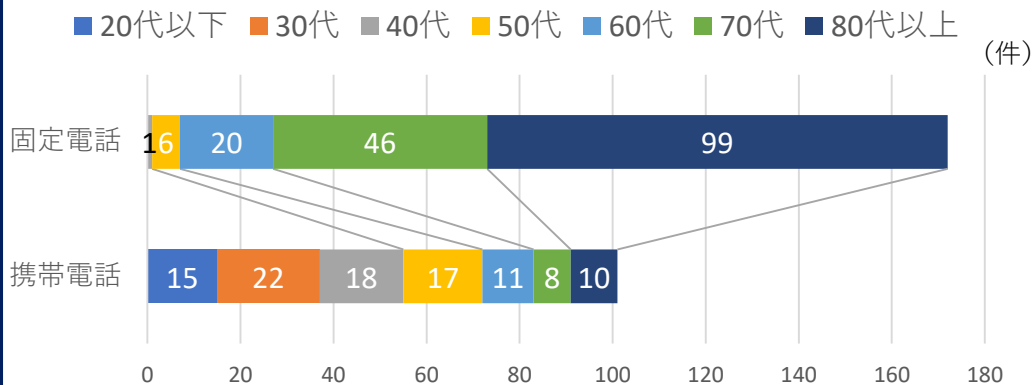
- 携帯電話が前年の3.7倍と増加が顕著

【増加が顕著であった携帯電話の手口別認知件数の推移】



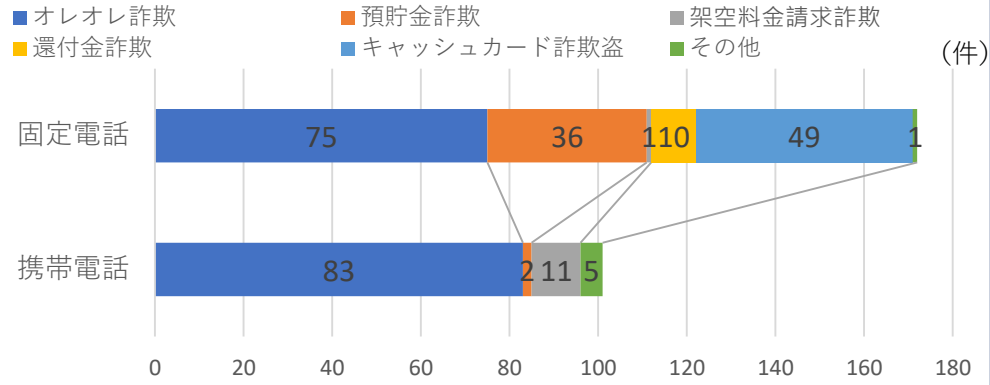
- 携帯電話を当初接触ツールとする手口は、オレオレ詐欺が約8割(前年の5.2倍と増加)。

【特殊詐欺の年代別認知件数】(令和7年)



- 20代～50代は、携帯電話による被害が多く、60代以上は、固定電話での被害が多い。

【特殊詐欺の手口別認知件数】



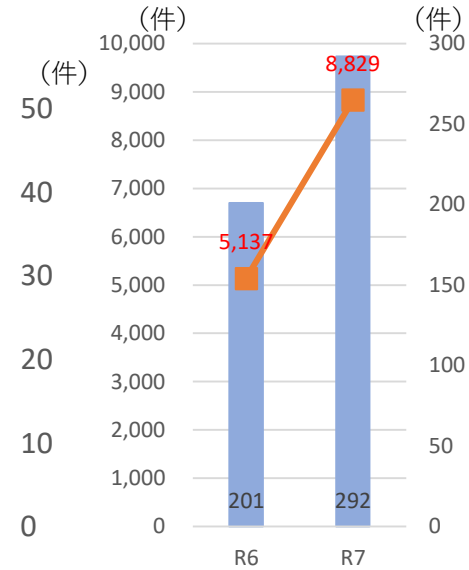
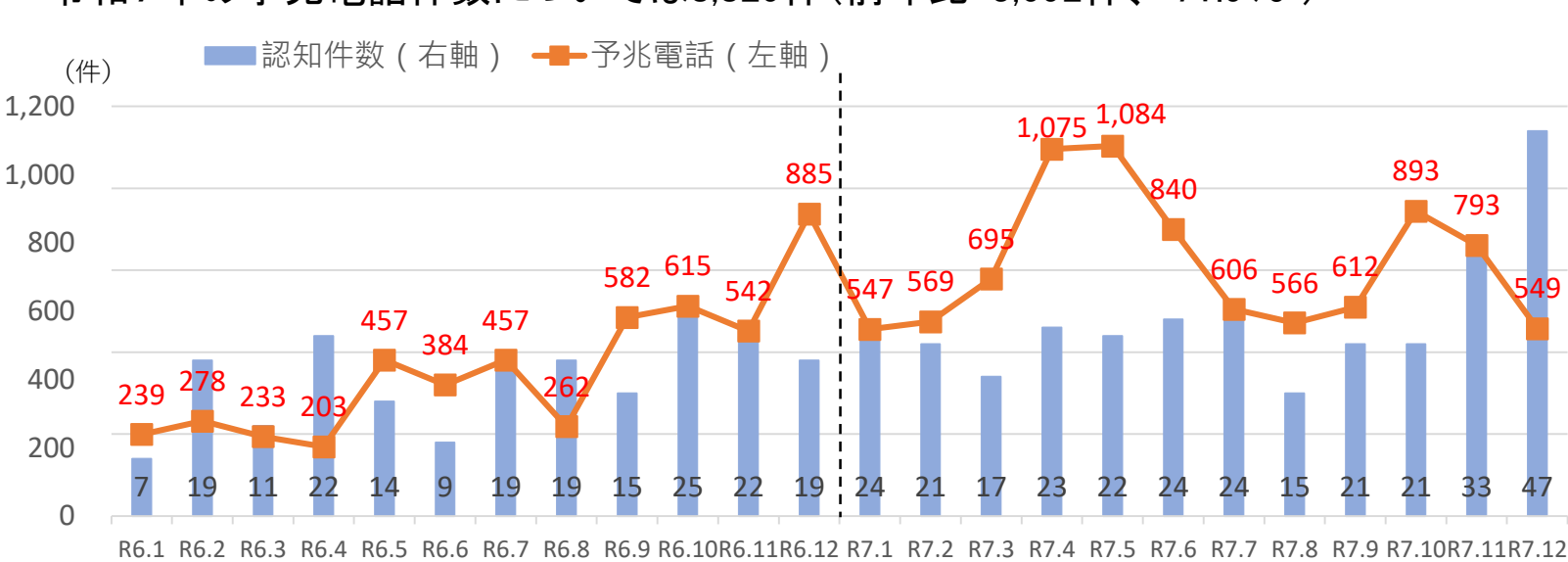
- オレオレ詐欺は、固定電話、携帯電話ともに多い。(固定電話は全体の約4割、携帯電話は全体の約8割)

特殊詐欺の当初接触ツールについて②

◆予兆電話件数

※ 警察が把握した、電話の相手方に対して、住所や氏名、資産、利用金融機関等を探るなどの特殊詐欺が疑われる電話

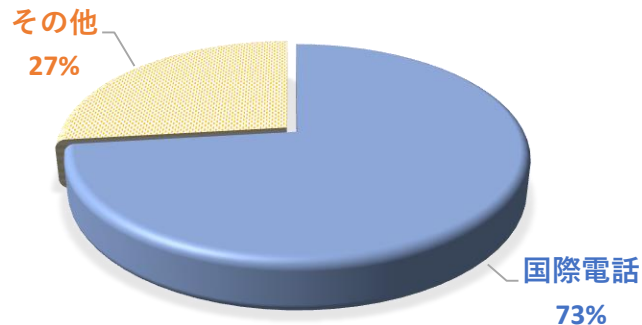
令和7年の予兆電話件数については8,829件（前年比+3,692件、+71.9%）



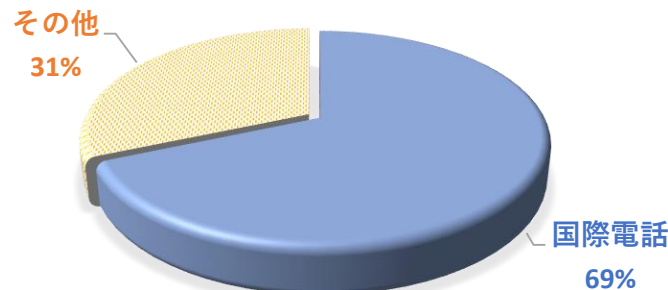
◆特殊詐欺に犯行利用された番号種別

犯行利用電話番号（判明分）のうち約7割が国際電話番号

犯行利用電話番号（令和6年中）



犯行利用電話番号（令和7年中）

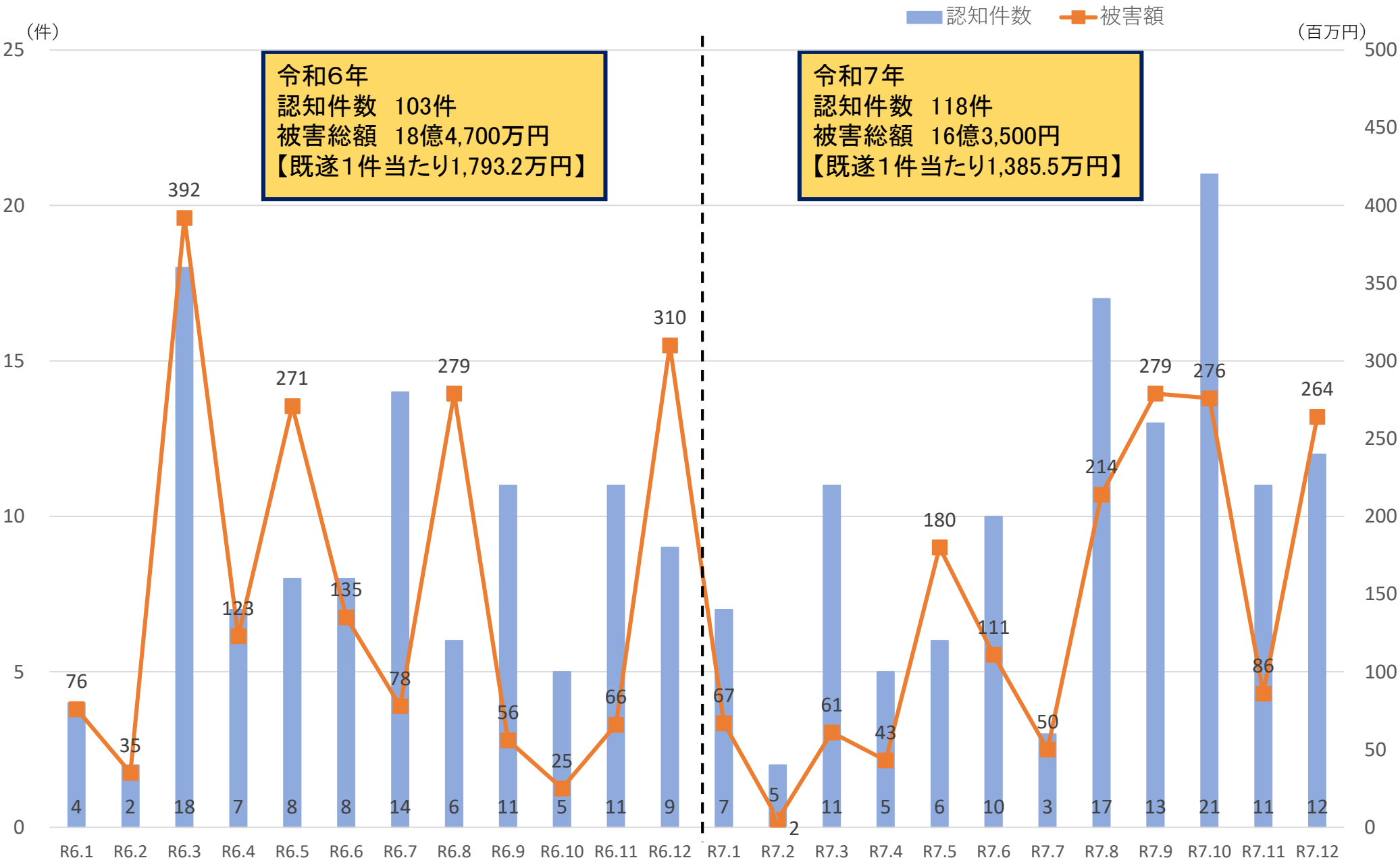


○ 予兆電話件数については、認知件数を上回る増加率(71.9%)

※ 認知件数の増加率は45.3%

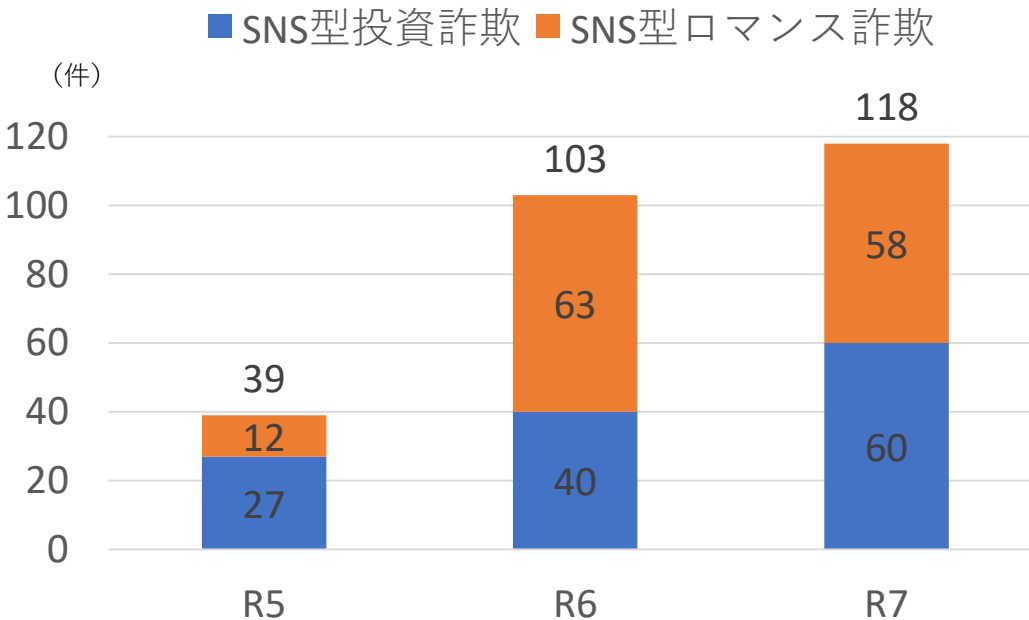
○ 犯行利用された番号種別については、国際電話番号が令和6年から約7割を占める

SNS型投資・ロマンス詐欺の被害状況

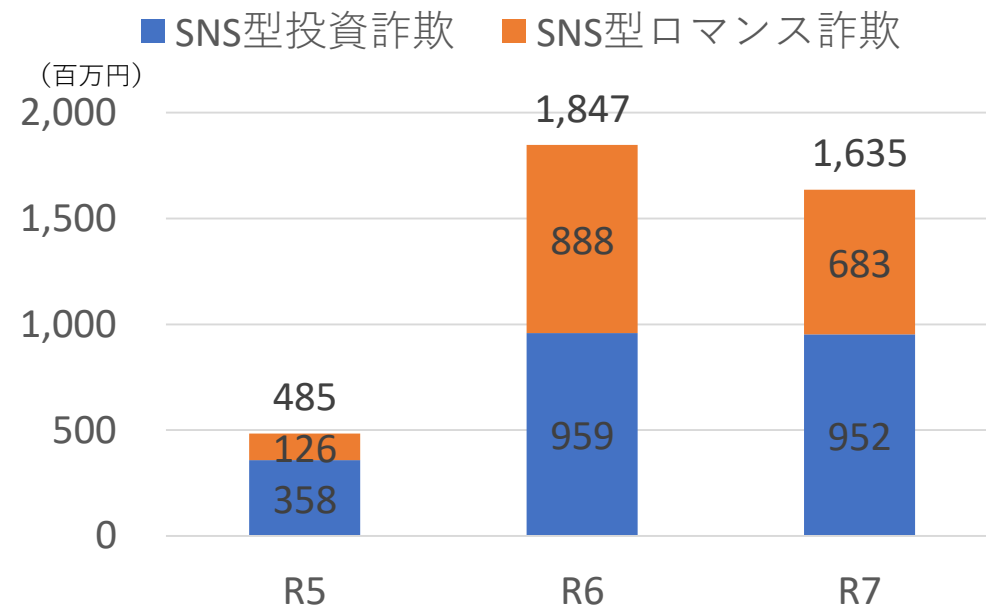


SNS型投資・ロマンス詐欺の全体概況

【認知件数】



【被害額】



◆認知件数(総数)

118件 (+15件、+14.6%)

(うち SNS型投資詐欺 60件、SNS型ロマンス詐欺 58件)

◆被害額(総額)

16億3,500万円 (-2億1,200万円、-11.5%)

(うち SNS型投資詐欺 9億5,200万円、SNS型ロマンス詐欺 6億8,300万円)

SNS型投資詐欺被害について

年代別

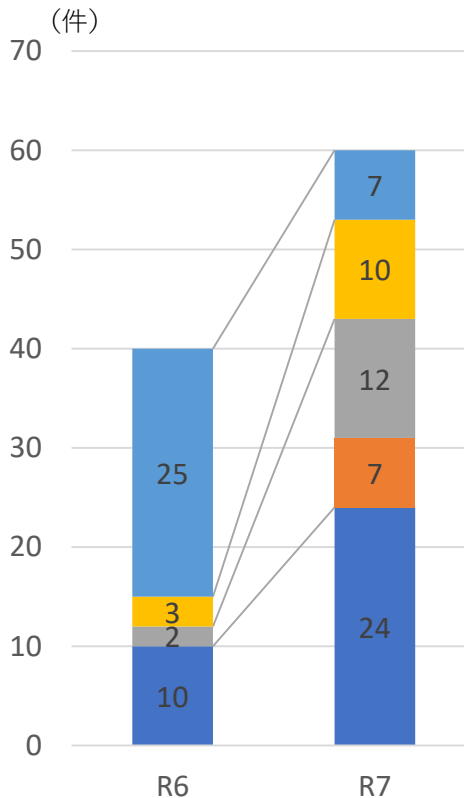
■ 20代以下 ■ 30代 ■ 40代
■ 50代 ■ 60代 ■ 70代以上



- 50代が最多(50代、60代で半数以上を占める)
- 若い年代への被害が拡大

当初接触手段

■ 不明 ■ その他
■ ダイレクトメッセージ ■ 投稿
■ バナー等広告

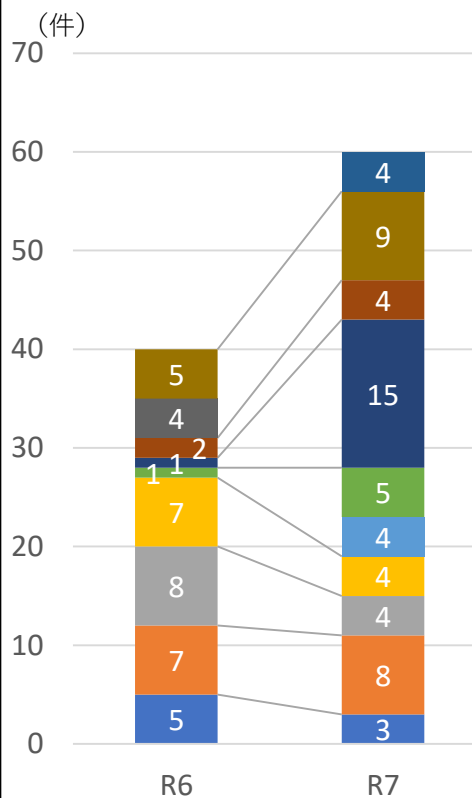


- 「バナー等広告」が最多、次いで「ダイレクトメッセージ」が多い

※ 投稿はR7から統計開始(R6はその他に含まれる。)

当初接触ツール

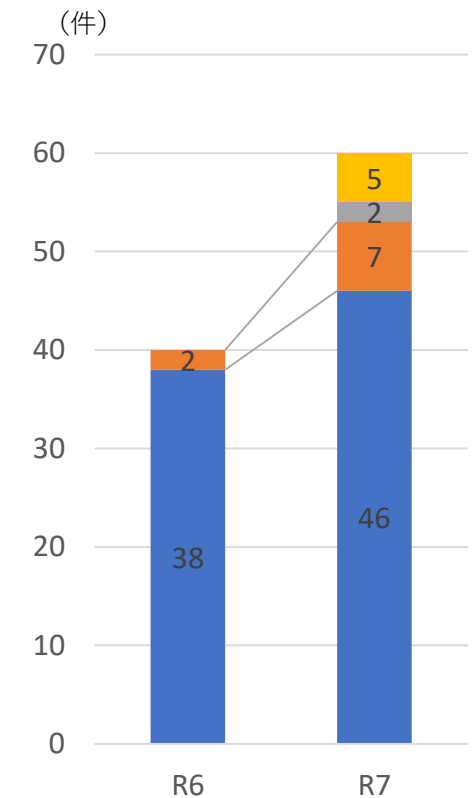
■ 不明 ■ その他
■ その他のインターネットサイト ■ 投資のインターネットサイト
■ 動画配信サイト ■ その他のSNS
■ TikTok ■ X(Twitter)
■ LINE ■ インスタグラム
■ フェイスブック



- 動画配信サイトが最多(15件)
- 次いでインスタグラム(8件) ※9件はその他

主な被害金等 交付形態別

■ 不明 ■ その他
■ 暗号資産送信型 ■ 振込型



- 「振込型」が最多、次いで「暗号資産送信型」が多い
- 「暗号資産送信型」が前年比で約4倍に増加

SNS型投資詐欺の当初接触手段について①

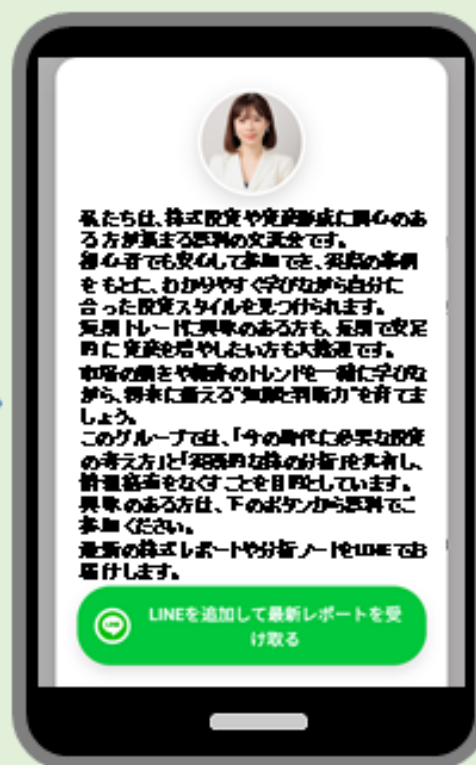
バナー等広告

【バナー等広告からLINEの「投資グループ」に誘導される流れ】



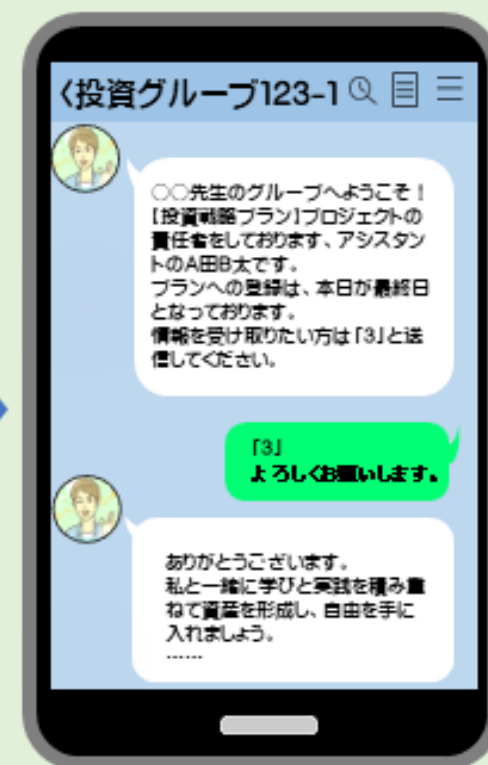
なりすまし広告

(画像は実際のなりすまし広告)



LINEに誘導

(画像は実例を元にしたイメージ)



投資グループ

(画像は実例を元にしたイメージ)

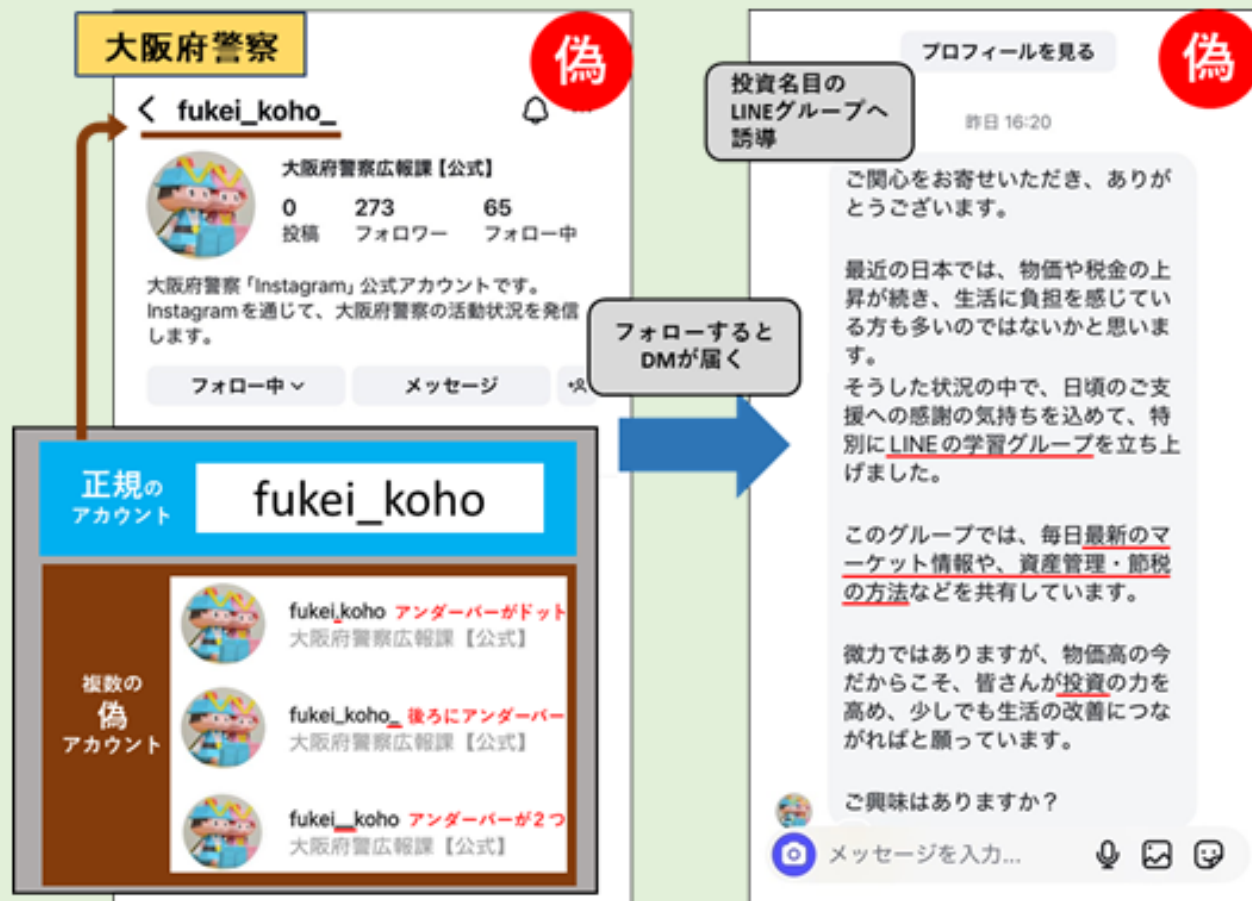
バナー等広告で接触後にLINEに誘導される割合が約9割

【作成協力:馬淵磨理子氏】

SNS型投資詐欺の当初接触手段について②

ダイレクトメッセージ

【ダイレクトメッセージからLINEの「投資グループ」に誘導される流れ】



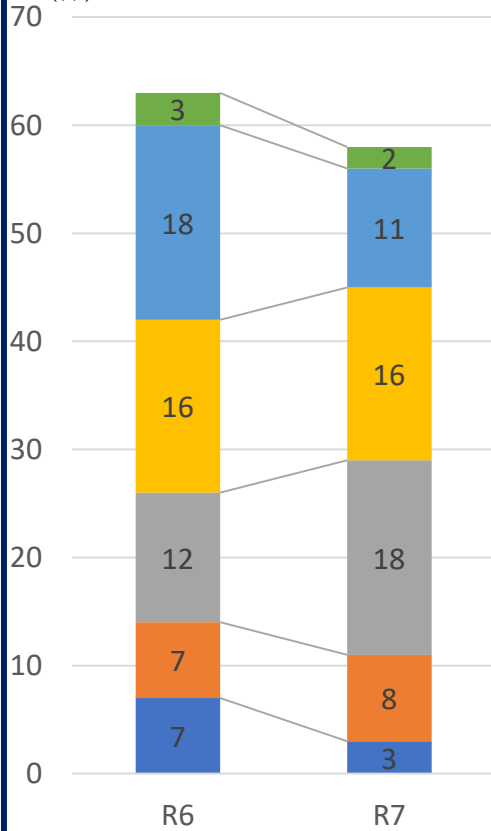
ダイレクトメッセージで接触後にLINEに誘導される割合が約9割

SNS型ロマンス詐欺被害について

年代別

■ 20代以下 ■ 30代 ■ 40代
■ 50代 ■ 60代 ■ 70代以上

(件)

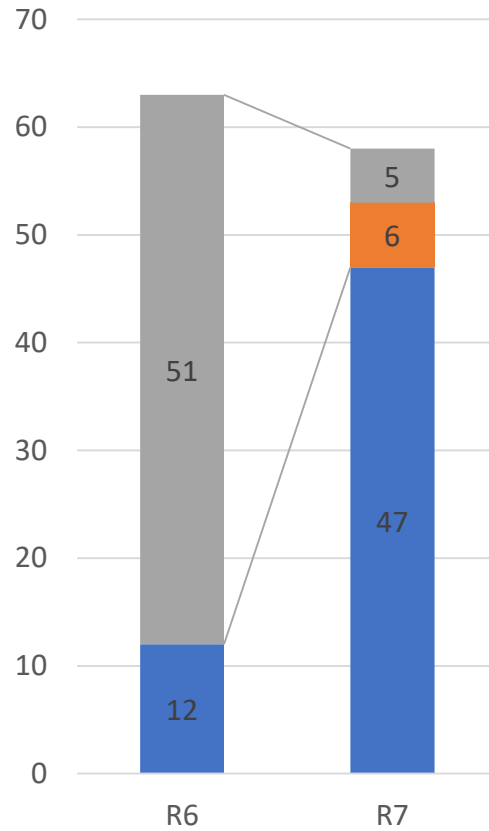


○ 40代～60代の被害が全体の77.6%を占める

当初接触手段

■ 不明
■ その他
■ ダイレクトメッセージ

(件)

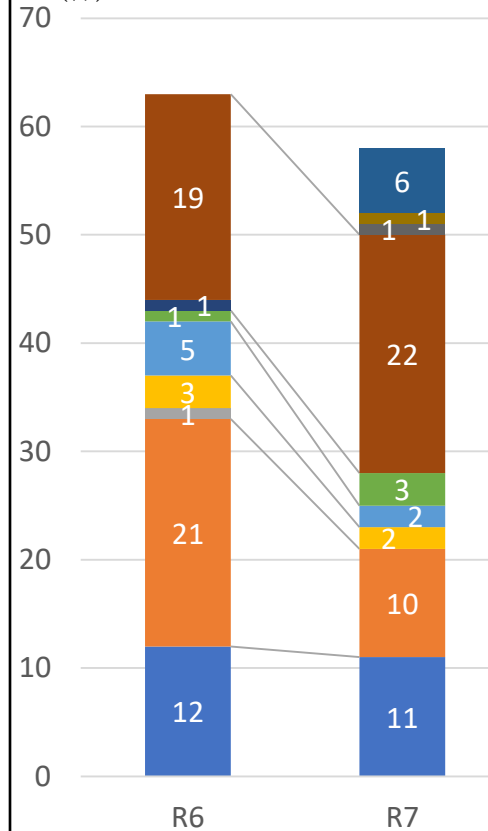


○ ダイレクトメッセージが全体の81.0%を占める

当初接触ツール

■ 不明 ■ SMS ■ その他のインターネットサイト ■ その他
■ TikTok ■ その他のSNS ■ X (Twitter) ■ インスタグラム
■ LINE ■ フェイスブック

(件)

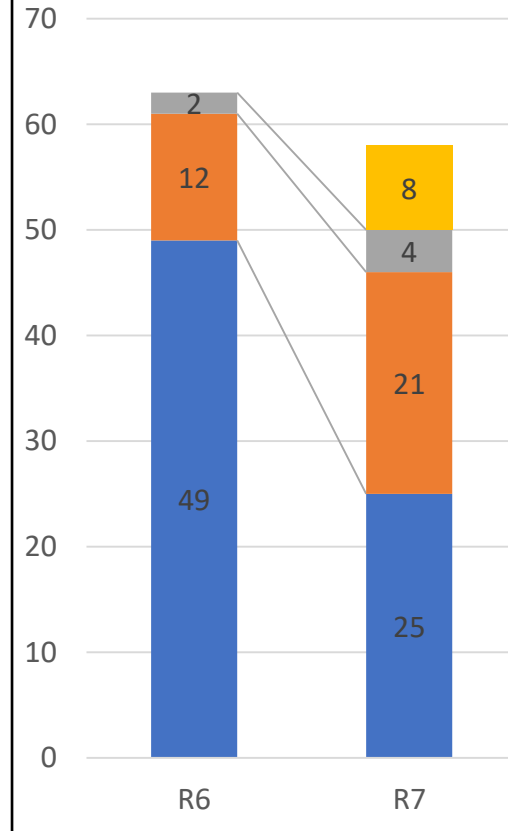


○ マッチングアプリが全体の37.9%を占め、次いでフェイスブックが19.0%

主な被害金等 交付形態別

■ 振込型 ■ 暗号資産送信型
■ その他 ■ 不明

(件)



○ 暗号資産送信型の被害が急増